キャラクター名
桑原　神奈（くわばら・かみな）

プレイヤー名

シンドローム	キュマイラ ブラックドッグ	ワークス	UGNチルドレンA	カヴァー	高校生
オプショナル		年齢	17	性別	男
覚醒	感染	衝動	飢餓	初期侵食率	35 %
出自	75：待ち望まれた子	経験	高校生81：処分	邂逅	87：秘密

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	5	1	0			6
感覚	1	0	0			1
精神	1	0	0			1
社会	1	0	0			1

HP	53
行動値	8
(非装備時)	8
戦闘移動	13
全力移動	26

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	2		射撃			ＲＣ	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達		
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
破壊の爪	白兵	6r+2		Lv+8		
	白兵	10r+2		19+1d		侵蝕率4/DB別。
	白兵	17r+2		22+1d		侵蝕率9/100↑/シナ1/DB別。

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品

コネ：UGN幹部	

ロイス

対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
破壊者	P	N		
遺産継承者	P	N		
親	P　遺志	N 無関心		
テレーズ・ブルム	P　庇護	N　脅威		
ヘックス	P　有為	N　悔悟		
	P	N		
	P	N		

最大財産P:　2	残り財産P：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
竜鱗	3	3	リア					
効果：装甲値+Lv*10								
コンセントレイト：獣	2	2	メジャー			シンドロ		
効果：C値-Lv								
破壊の爪	1	3	マイナー					
効果：素手変更								
ハンティングスタイル	1	1	マイナー					
効果：離脱可能の戦闘移動								
獣の力	5	2	メジャー			白兵射撃		
効果：攻撃力+Lv*2								
完全獣化	2	6	マイナー					
効果：【肉体】ダイスLv+2								
フルインストール	3	5	イニシア				100%	
効果：ラウンド中あらゆる判定D+Lv*3								
眠れる遺伝子	★	シン		ハクビ	いつも	大体		
効果：何か好きな動物になれるぜ！								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

「壊すことのキャリアなら相当でね。お蔭で壊しにくいモノもそれなりに知ってんだ」
　「…俺がハクビシンになったのがそんな意外かよ。可愛いだろ、ん？」

光悦茶の髪を無造作に伸ばした男。脱色しているわけではなく痛んでいるらしい。
戦闘体型は形状変化は皮膚の強靭化・筋線維の増強程度と慎ましやかながら、ブラックドッグ由来の全身の発電細胞が活発化し淡く紫電を滾らせる。
尚ほとんどが神経系の補強に用いられており、雷そのものは直接的な攻撃力に乏しい。冬場のマフラーくらいの威力がせいぜいである。
分かり易く力の出る獣の形態を用いないのは桑原神奈曰く「服が勿体ないから」だそう。なお実情は諸事情で内部変化までしか出来ないから。

生誕は幸福なものだった。誰かに恨まれるわけでもなく、誰もに望まれていたのだから。
――一族は只の殺戮屋で、彼は彼らの技術の結晶として弄（そだて）られるものだったとしても。
その歓喜だけは平凡で平穏な家庭と変わらなかった筈だ。
彼の一族は、とある液状の遺産を摂取することにより発現させたレネゲイドの力で以て、積まれた金に応じた獲物を仕留める人でなし共であった。

今は昔の話なので過去形だ。とうの昔、神奈に物心がついたころには既に正義の味方が当然のように壊滅させている。
当時には既に技術を心髄に沁み込ませ、身体もまた人から踏み外した彼であったが、それでもＵＧＮに保護されて。
何が何やら分からないまま施設に放り込まれ今に至るという経緯。

目を付けられて利用されているのだろう、といつかに気付いたのは別に悲しくない。世の中そんなもんだ。そう思える程度の波濤を、彼の人生は優に受け切っている。打算の中に僅か、見え隠れした人並みの優しさだってあったから、だから、そこは構わない。
むしろ、生まれ持った技能を扱える環境に感謝すら。或いはその感謝は、それを与えてくれた親へのものだったかもしれない。